

INFORMATION MANAGEMENT SERVICE SYSTEM, INFORMATION MANAGEMENT SERVER, USER TERMINAL UNIT, PROGRAM, AND MEDIUM RECORDING PROGRAM

Publication number: JP2002312429

Publication date: 2002-10-25

Inventor: GEN SHINICHI

Applicant: TOKYO SUNTOOL KK

Classification:

- international: G07F17/26; G06Q30/00; G06Q50/00; G07F17/00;
G06Q30/00; G06Q50/00; (IPC1-7): G06F17/60;
G07F17/26

- european:

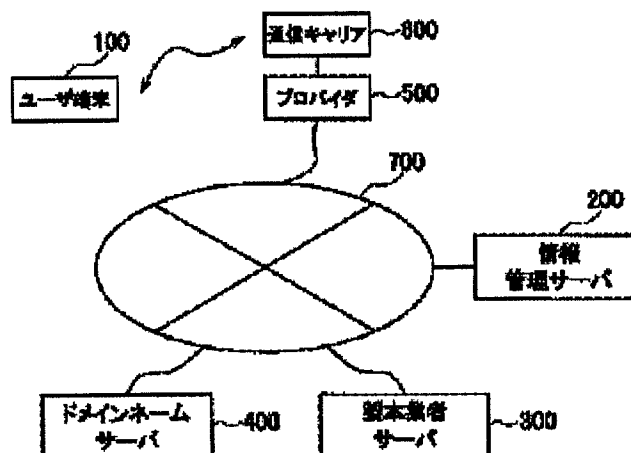
Application number: JP20010115082 20010413

Priority number(s): JP20010115082 20010413

Report a data error here

Abstract of JP2002312429

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide the service unavailable by a conventional method for user through a public line. **SOLUTION:** In this information management service system in which at least a user terminal unit 100 and an information management server 200 storing and managing information data transmitted from the user terminal unit 100 are mutually connected through a public line network 700, the information management server 200 transmits the information about whether an order for service for editing the information data and binding a book is given or not to the user terminal unit 100 after a predetermined period elapses from the time when the information data is stored or after a predetermined amount of the information data is stored.



Data supplied from the esp@cenet database - Worldwide

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2002-312429

(P2002-312429A)

(43) 公開日 平成14年10月25日 (2002.10.25)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テマコード* (参考)
G 0 6 F 17/60	1 0 6	G 0 6 F 17/60	1 0 6
	1 3 2		1 3 2
	3 1 8		3 1 8 C
	3 3 2		3 3 2
	Z E C		Z E C

審査請求 未請求 請求項の数47 O L (全 25 頁) 最終頁に続く

(21) 出願番号 特願2001-115082(P2001-115082)

(22) 出願日 平成13年4月13日 (2001.4.13)

(71) 出願人 39901/751

株式会社東京サンツール

東京都杉並区南荻窪3-8-12

(72) 発明者 巖 真一

東京都杉並区南荻窪3丁目8番12号 株式会社東京サンツール内

(74) 代理人 100095957

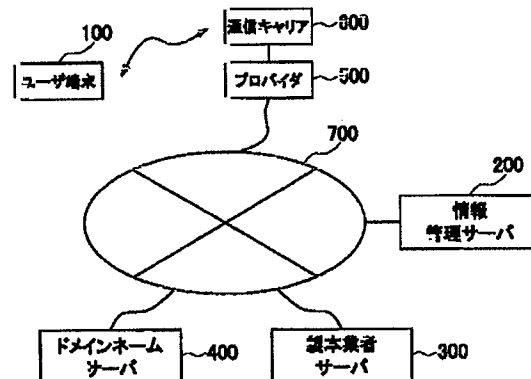
弁理士 亀谷 美明 (外3名)

(54) 【発明の名称】 情報管理サービスシステム、情報管理サーバ、ユーザ端末装置、プログラム及び当該プログラムを記録した媒体。

(57) 【要約】

【課題】 ユーザに対して従来にはないサービスを公衆回線も介して提供する。

【解決手段】 少なくとも、ユーザ端末装置100と、ユーザ端末装置100から送信された情報データを格納して管理する情報管理サーバ200とが公衆回線700を介して接続される情報管理サービスシステムであって、情報管理サーバ200は、情報データの格納時点から所定期間経過した後あるいは情報データが所定量蓄積された後、情報データを編集して製本するサービスを発注するか否かの情報をユーザ端末装置100に送信する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 少なくとも、ユーザ端末装置と、前記ユーザ端末装置から送信された情報データを格納して管理する情報管理サーバとが公衆回線網を介して接続される情報管理サービスシステムであって、前記情報管理サーバは、前記情報データの格納時点から所定期間経過した後あるいは前記情報データが所定量蓄積された後、前記情報データを編集して製本するサービスを発注するか否かの情報を前記ユーザ端末装置に送信する、ことを特徴とする情報管理サービスシステム。

【請求項2】 前記公衆回線網には、さらに、前記情報データを編集して製本する業者の製本業者サーバが接続されており、前記情報管理サーバが前記ユーザ端末装置から製本サービスを発注する情報を受信した場合には、前記情報管理サーバは、前記受信した製本サービス発注情報を前記製本業者サーバに対して送信する、ことを特徴とする請求項1に記載の情報管理サービスシステム。

【請求項3】 前記情報管理サーバは、情報データを、ユーザが指定した年月日の情報データとして格納可能であることを特徴とする請求項1または2に記載の情報管理サービスシステム。

【請求項4】 前記ユーザが指定する年月日は、前記ユーザ端末装置の画面に表示されたカレンダーを介して指定可能であることを特徴とする請求項1、2あるいは3項のうちいずれか1項に記載の情報管理サービスシステム。

【請求項5】 前記ユーザ端末装置の画面上のカレンダーには、情報データが既に格納されている年月日を識別する情報が表示される、ことを特徴とする請求項4に記載の情報管理サービスシステム。

【請求項6】 ユーザが年月日を指定して情報データを入力する場合には、当該年月日に関連する事項がユーザ端末装置の画面上に表示される、ことを特徴とする請求項4または5に記載の情報管理サービスシステム。

【請求項7】 前記情報データは、文字データからなる、ことを特徴とする請求項1、2、3、4、5あるいは6項のうちいずれか1項に記載の情報管理サービスシステム。

【請求項8】 前記情報データには、当該情報データの属性情報が付加されると共に、前記情報管理サーバは、前記情報データを属性情報毎に管理する、ことを特徴とする請求項1、2、3、4、5、6あるいは7項のうちいずれか1項に記載の情報管理サービスシステム。

【請求項9】 前記属性情報は、ユーザの年代、ユーザの性別、情報データの用途、システムの使用目的の群から選択される少なくとも1つである、ことを特徴とする請求項8に記載の情報管理サービスシステム。

【請求項10】 前記情報データには、ユーザが指定する任意の画像データあるいは音声データを付加することが可能であることを特徴とする請求項1、2、3、

4、5、6、7、8あるいは9項のうちいずれか1項に記載の情報管理サービスシステム。

【請求項11】 前記情報管理サーバに格納されている情報データは、前記ユーザ端末装置を介して修正あるいは変更可能であることを特徴とする請求項1、2、3、4、5、6、7、8、9あるいは10項のうちいずれか1項に記載の情報管理サービスシステム。

【請求項12】 前記情報管理サーバは、前記製本サービス発注情報を送信したユーザに対して課金するための課金手段を有する、ことを特徴とする請求項1、2、3、4、5、6、7、8、9、10あるいは11項のうちいずれか1項に記載の情報管理サービスシステム。

【請求項13】 前記情報管理サーバは、さらに、ユーザを会員登録する会員登録手段と、ユーザが登録会員であるか否かを認証する登録会員認証手段とを有し、前記情報管理サーバにアクセスするユーザが登録会員であると認証された場合には、前記情報管理サーバは、前記ユーザ端末装置に対してコンテンツを提供する、ことを特徴とする請求項1、2、3、4、5、6、7、8、9、10、11あるいは12項のうちいずれか1項に情報管理サービスシステム。

【請求項14】 前記ユーザ端末装置の画面上には、ユーザの手続きを誘導する手続誘導手段が表示される、ことを特徴とする請求項1、2、3、4、5、6、7、8、9、10、11、12あるいは13項のうちいずれか1項に情報管理サービスシステム。

【請求項15】 前記ユーザ端末装置の画面上には、ユーザの手続きに関連する事象が具体的な図柄として表示される、ことを特徴とする請求項1、2、3、4、5、6、7、8、9、10、11、12、13あるいは14項のうちいずれか1項に情報管理サービスシステム。

【請求項16】 公衆回線網を介して接続されるユーザ端末装置から送信された情報データを格納して管理する情報管理サーバであって、前記情報管理サーバは、前記情報データの格納時点から所定期間経過した後あるいは前記情報データが所定量蓄積された後、前記情報データを編集して製本するサービスを発注するか否かの情報を前記ユーザ端末装置に通知する、ことを特徴とする情報管理サーバ。

【請求項17】 前記ユーザ端末装置から製本サービスを発注する情報を受信した場合には、公衆回線網を介して接続されている、前記情報データを編集して製本する業者の製本業者サーバに対して、前記製本サービス発注情報を送信する、ことを特徴とする請求項16に記載の情報管理サーバ。

【請求項18】 前記情報管理サーバは、情報データを、ユーザが指定した年月日の情報データとして格納可能であることを特徴とする請求項16または17に記載の情報管理サーバ。

【請求項19】 前記ユーザ端末装置の画面に、前記情

報データの年月日を指定するためのカレンダーを表示する、ことを特徴とする請求項16、17あるいは18項のうちいずれか1項に記載の情報管理サーバ。

【請求項20】 前記ユーザ端末装置の画面のカレンダー上に、情報データが既に格納されている年月日を識別する情報を表示する、ことを特徴とする請求項19に記載の情報管理サーバ。

【請求項21】 ユーザが情報データを指定する年月日に入力する場合には、当該年月日に関連する事項をユーザ端末装置の画面上に表示する、ことを特徴とする請求項19または20に記載の情報管理サーバ。

【請求項22】 前記情報データは、文字データからなる、ことを特徴とする請求項16、17、18、19、20あるいは21項のうちいずれか1項に記載の情報管理サーバ。

【請求項23】 前記情報データには、当該情報データの属性情報が付加されると共に、前記情報管理サーバは、前記情報データを属性情報毎に管理する、ことを特徴とする請求項16、17、18、19、20、21あるいは22項のうちいずれか1項に記載の情報管理サーバ。

【請求項24】 前記属性情報は、ユーザの年代、ユーザの性別、情報データの用途、システムの使用目的の群から選択される少なくとも1つである、ことを特徴とする請求項23に記載の情報管理サーバ。

【請求項25】 前記情報データには、ユーザが指定する任意の画像データあるいは音声データを付加することが可能である、ことを特徴とする請求項16、17、18、19、20、21、22、23あるいは24項のうちいずれか1項に記載の情報管理サーバ。

【請求項26】 前記情報管理サーバに格納されている情報データは、前記ユーザ端末装置を介して修正あるいは変更可能である、ことを特徴とする請求項16、17、18、19、20、21、22、23、24あるいは25項のうちいずれか1項に記載の情報管理サーバ。

【請求項27】 さらに、前記情報管理サーバは、前記製本サービス発注情報を送信したユーザに対して課金するための課金手段を有する、ことを特徴とする請求項16、17、18、19、20、21、22、23、24、25あるいは26項のうちいずれか1項に記載の情報管理サーバ。

【請求項28】 前記情報管理サーバは、さらに、ユーザを会員登録する会員登録手段と、ユーザが登録会員であるか否かを認証する登録会員認証手段とを有し、前記情報管理サーバにアクセスするユーザが登録会員であると認証された場合には、前記情報管理サーバは、前記ユーザ端末装置に対してコンテンツを提供する、ことを特徴とする請求項16、17、18、19、20、21、22、23、24、25、26あるいは27項のうちいずれか1項に記載の情報管理サーバ。

【請求項29】 前記ユーザ端末装置の画面上に、ユーザの手続きを誘導する手続誘導手段を表示する、ことを特徴とする請求項16、17、18、19、20、21、22、23、24、25、26、27あるいは28項のうちいずれか1項に記載の情報管理サーバ。

【請求項30】 前記ユーザ端末装置の画面上に、ユーザの手続きに関連する事象を具体的な図柄として表示する、ことを特徴とする請求項16、17、18、19、20、21、22、23、24、25、26、27、28あるいは29項のうちいずれか1項に記載の情報管理サーバ。

【請求項31】 公衆回線網を介してアクセスした情報管理サーバに情報を格納するユーザ端末装置であって、前記ユーザ端末装置は、前記情報データの格納時点から所定期間経過した後あるいは前記情報データが所定量蓄積された後、前記情報データを編集して製本するサービスを発注するか否かの情報が前記情報管理サーバにより通知される、ことを特徴とするユーザ端末装置。

【請求項32】 前記情報管理サーバに対して、前記製本サービスを発注するための製本サービス発注情報を送信する手段を有する、ことを特徴とする請求項31に記載のユーザ端末装置。

【請求項33】 前記ユーザ端末装置は、情報データを、ユーザが指定した年月日の情報データとして情報管理サーバに格納可能である、ことを特徴とする請求項31または32に記載のユーザ端末装置。

【請求項34】 前記情報データに指定される年月日は、前記ユーザ端末装置の画面に表示されたカレンダーを介して指定可能である、ことを特徴とする請求項33に記載のユーザ端末装置。

【請求項35】 前記ユーザ端末装置の画面上に表示されるカレンダーには、情報データが既に格納されている年月日を識別する情報が表示される、ことを特徴とする請求項34に記載のユーザ端末装置。

【請求項36】 ユーザが年月日を指定して情報データを入力する場合には、当該年月日に関連する事項がユーザ端末装置の画面上に表示される、ことを特徴とする請求項34または35に記載のユーザ端末装置。

【請求項37】 前記情報データは、文字データからなる、ことを特徴とする請求項31、32、33、34、35あるいは36項のうちいずれか1項に記載のユーザ端末装置。

【請求項38】 前記情報データには、当該情報データの属性情報が付加することが可能である、ことを特徴とする請求項31、32、33、34、35、36あるいは37項のうちいずれか1項に記載のユーザ端末装置。

【請求項39】 前記属性情報は、ユーザの年代、ユーザの性別、情報データの用途、システムの使用目的の群から選択される少なくとも1つである、ことを特徴とする請求項38に記載のユーザ端末装置。

【請求項40】 前記情報データには、ユーザが指定する任意の画像データあるいは音声データを付加することが可能である、ことを特徴とする請求項31、32、33、34、35、36、37、38あるいは39項のうちいずれか1項に記載のユーザ端末装置。

【請求項41】 前記情報管理サーバに格納されている情報データは、前記ユーザ端末装置を介して修正あるいは変更可能である、ことを特徴とする請求項31、32、33、34、35、36、37、38、39あるいは40項のうちいずれか1項に記載のユーザ端末装置。

【請求項42】 前記ユーザ端末装置が製本サービス発注情報を送信した場合には、情報管理サーバに設けられた課金手段より課金される、ことを特徴とする請求項31、32、33、34、35、36、37、38、39、40あるいは41項のうちいずれか1項に記載のユーザ端末装置。

【請求項43】 ユーザを会員登録する会員登録手段と、ユーザが登録会員であるか否かを認証する登録会員認証手段とを有する情報管理サーバにより、前記情報管理サーバにアクセスするユーザが登録会員であると認証された場合には、前記情報管理サーバによりコンテンツが提供される、ことを特徴とする請求項31、32、33、34、35、36、37、38、39、40、41あるいは42項のうちいずれか1項に記載のユーザ端末装置。

【請求項44】 前記ユーザ端末装置の画面上には、ユーザの手続きを誘導する手続誘導手段が表示される、ことを特徴とする請求項31、32、33、34、35、36、37、38、39、40、41、42あるいは43項のうちいずれか1項に記載のユーザ端末装置。

【請求項45】 前記ユーザ端末装置の画面上には、ユーザの手続きに関連する事象が具体的な図柄として表示される、ことを特徴とする請求項31、32、33、34、35、36、37、38、39、40、41、42、43あるいは44項のうちいずれか1項に記載のユーザ端末装置。

【請求項46】 前記請求項16から請求項30に記載の情報管理サーバの機能を実現することを特徴とするプログラム。

【請求項47】 前記請求項46に記載の情報処理プログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、情報管理サービスシステム、情報管理サーバ、ユーザ端末装置、プログラム及び当該プログラムを記録した格納媒体に関し、さらに詳細には、少なくとも、ユーザ端末装置と、ユーザ端末装置から送信された情報データを格納して管理する情報管理サーバとが公衆回線網を介して接続される情報管

理サービスシステム等に関する。

【0002】

【従来の技術】近年においては、コンピュータを使用して日記や作品など個人的な情報データを格納して管理するソフトウェアが開発されている。また、インターネットを介して各種サーバ装置にアクセスして例えば日記などの個人情報を記入し、記入した個人情報を第三者に広く公開することもおこなわれている。かかるサーバ装置に格納した情報データは、コンピュータ画面上で閲覧することができると共に、紙面にプリントアウトして閲覧するもできる。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、ユーザ個人のコンピュータ内で例えば日記や作品などの個人的情報を格納する場合には、ユーザ自身でデータを管理しなければならぬため、例えばユーザの誤操作により個人情報消失する危険性がある。

【0004】また、インターネットを利用するシステムは、通常、ブラウザ上あるいはインターネット上で個人情報を交換することを目的とするため、ユーザの個人情報を他人に開示せずに管理するシステムが存在しなかった。即ち、従来の例えば日記などの個人情報を格納するサイトは、例えば書き込み型サイト、情報公開型サイト、情報交換型サイトなどの公開を目的としたサイトであり、個人データを非公開にして管理あるいは保存するものではなかった。

【0005】さらに、インターネットを利用するシステムは、ブラウザ上の仮想世界で例えば日記などの個人データを閲覧あるいは交換するものであるため、現実感（リアリティ）に欠けるものでありユーザの興味が半減していた。また、ユーザが格納可能なデータの記憶容量にも限界があるので、古い情報データは消去されていた。このように、従来のシステムでは、信頼ある管理者に個人情報を預けているという感覚をもつことができなかった。

【0006】したがって、本発明の目的は、ユーザに対して従来にはないサービスを提供する情報管理サービスシステム等を提供することにある。

【0007】

【課題を解決するための手段】上記課題を解決するため、請求項1に記載の発明では、少なくとも、ユーザ端末装置と、前記ユーザ端末装置から送信された情報データを格納して管理する情報管理サーバとが公衆回線網を介して接続される情報管理サービスシステムであって、前記情報管理サーバは、前記情報データの格納時点から所定期間経過した後あるいは前記情報データが所定量蓄積された後、前記情報データを編集して製本するサービスを発注するか否かの情報を前記ユーザ端末装置に送信する、ことを特徴とする情報管理サービスシステムが提供される。

【0008】本項記載の発明では、ブラウザ上の仮想空間の情報データを編集して製本するという従来にはないサービスを提供することができる。即ち、例えばインターネットなどの仮想空間上におけるユーザの個人情報は、実体物（例えば出版物）として具現化されるので、ユーザは、バーチャル空間がリアル空間（即ち、概念を実体物）に発展するという新たなサービスを享受することができる。

【0009】また、請求項2に記載の発明のように、前記公衆回線網には、さらに、前記情報データを編集して製本する業者の製本業者サーバが接続されており、前記情報管理サーバが前記ユーザ端末装置から製本サービスを発注する情報を受信した場合には、前記情報管理サーバは、前記受信した製本サービス発注情報を前記製本業者サーバに対して送信する、如く構成すれば、ユーザの情報データの製本依頼は、自動的に製本業者に送信されるのでより効率的に製本サービスの発注をおこなうことができる。

【0010】また、請求項3に記載の発明のように、前記情報管理サーバは、ユーザが指定した年月日の情報データとして格納可能である、如く構成すれば、例えば日記帳あるいは日誌などのように年月日毎に情報データを記入するシステムとして利用することができる。

【0011】また、請求項4に記載の発明のように、前記ユーザが指定する年月日は、前記ユーザ端末装置の画面に表示されたカレンダーを介して指定可能である、如く構成すれば、情報データを簡易に年月日毎に格納することができる。

【0012】また、請求項5に記載の発明のように、前記ユーザ端末装置の画面上のカレンダーには、情報データが既に格納されている年月日を識別する情報が表示される、如く構成すれば、情報データを記入した年月日を容易に認識することができる。

【0013】また、請求項6に記載の発明のように、ユーザが年月日を指定して情報データを入力する場合には、当該年月日に関連する事項がユーザ端末装置の画面上に表示される、如く構成すれば、過去の記憶が鮮明に呼び起こされるので、過去のデータを容易に記入あるいは変更することができる。このとき、例えば1,900年から2,000年の10年単位で、当時起こった出来事、流行したもの、ニュースなどを列挙して表示することができる。

【0014】また、請求項7に記載の発明のように、前記情報データは、文字データからなる、如く構成することができる。

【0015】また、請求項8に記載の発明のように、前記情報データには当該情報データの属性情報が付加されると共に、前記情報管理サーバは、前記情報データを属性情報毎に管理する、如く構成すれば、情報データをより個人的な情報データとして管理することができるの

で、ユーザのニーズに合わせたサービスが提供される。例えば、請求項9に記載の発明のように、前記属性情報は、ユーザの年代、ユーザの性別、情報データの用途、システムの使用目的の群から選択される少なくとも1つである、如く構成することができる。

【0016】また、請求項10に記載の発明のように、前記情報データには、ユーザが指定する任意の画像データあるいは音声データを付加することが可能である、如く構成すれば、例えば絵文字、装飾デザイン、記号、イメージ写真、デザインテンプレート、個人の写真画像、音声、キーワードなどを情報データに貼り付けることができる。この結果、より個人的な情報データとして管理することができる。

【0017】また、請求項11に記載の発明のように、前記情報管理サーバに格納されている情報データは、前記ユーザ端末装置を介して修正あるいは変更可能である、如く構成すれば、格納した情報データを修正あるいは変更することができる。

【0018】また、請求項12に記載の発明のように、前記情報管理サーバは、前記製本サービス発注情報を送信したユーザに対して課金するための課金手段を有する、如く構成すれば、ユーザが例えば情報データを出版物とするサービスを享受する場合にのみユーザに課金することができる。即ち、例えば通常のサービスは無料で提供すると共に、付加価値の高いサービスを受ける場合にのみ課金するというシステムが構築される。この結果、ユーザが利用しやすいサービスが提供されるので、ユーザの興味が向けられ、集客力の高いマーケット市場が形成される。

【0019】また、請求項13に記載の発明のように、前記情報管理サーバは、さらに、ユーザを会員登録する会員登録手段と、ユーザが登録会員であるか否かを認証する登録会員認証手段とを有し、前記情報管理サーバにアクセスするユーザが登録会員であると認証された場合には、前記情報管理サーバは、前記ユーザ端末装置に対してコンテンツを提供する、如く構成すれば、例えばID及びパスワードを会員登録手段とすれば、例えば日記帳の鍵としての役割を果たすことができ、個人の情報データを管理するシステムが構築される。

【0020】また、請求項14に記載の発明のように、前記ユーザ端末装置の画面上には、ユーザの手続きを誘導する手続誘導手段が表示される、如く構成すれば、例えばキャラクタを誘導役としてユーザの画面操作を誘導するので、例えばストーリー性のあるサービスも享受することができる。

【0021】また、請求項15に記載の発明のように、前記ユーザ端末装置の画面上には、ユーザの手続きに関連する事象が具体的な図柄として表示される、如く構成すれば、例えば個性的なデザインの空間（例えばメモリバンク）がブラウザ上に表示され、例えばキャラクタと

の組み合わせにより独特な世界（仮想空間）でのサービスを楽しむことができる。

【0022】上記課題を解決するため、請求項16に記載の発明のように、公衆回線網を介して接続されるユーザ端末装置から送信された情報データを格納して管理する情報管理サーバであって、前記情報管理サーバは、前記情報データの格納時点から所定期間経過した後あるいは前記情報データが所定量蓄積された後、前記情報データを編集して製本するサービスを発注するか否かの情報を前記ユーザ端末装置に通知する、ことを特徴とする情報管理サーバが提供される。

【0023】本項記載の発明では、ブラウザ上の仮想空間の情報データを編集して製本するという従来にはないサービスを提供することができる。即ち、例えばインターネットなどの仮想空間上におけるユーザの個人情報、実体物（例えば出版物）として具現化されるので、ユーザは、バーチャル空間がリアル空間（即ち、概念を実体物）に発展するという新たなサービスを楽しむことができる。

【0024】また、請求項17に記載の発明のように、前記ユーザ端末装置から製本サービスを発注する情報を受信した場合には、公衆回線網を介して接続されている、前記情報データを編集して製本する業者の製本業者サーバに対して、前記製本サービス発注情報を送信する、如く構成すれば、ユーザの情報データの製本依頼は、自動的に製本業者に送信されるのでより効率的に製本サービスの発注をおこなうことができる。

【0025】また、請求項18に記載の発明のように、前記情報管理サーバは、情報データを、ユーザが指定した年月日の情報データとして格納可能である、如く構成すれば、例えば日記帳あるいは日誌などのように年月日毎に情報データを記入することができる。

【0026】また、請求項19に記載の発明のように、前記ユーザ端末装置の画面に、前記情報データの年月日を指定するためのカレンダーを表示する、如く構成すれば、情報データを簡易に年月日毎に格納することができる。

【0027】また、請求項20に記載の発明のように、前記ユーザ端末装置の画面のカレンダー上に、情報データが既に格納されている年月日を識別する情報を表示する、如く構成すれば、情報データを記入した年月日を容易に認識することができる。

【0028】また、請求項21に記載の発明のように、ユーザが情報データを指定する年月日に入力する場合には、当該年月日に関連する事項をユーザ端末装置の画面上に表示する、如く構成すれば、過去の記憶が鮮明に呼び起こされるので、過去のデータを容易に記入あるいは変更することができる。このとき、例えば1,900年から2,000年の10年単位で、当時起こった出来事、流行したもの、ニュースなどを列挙して表示するこ

とができる。

【0029】また、請求項22に記載の発明のように、前記情報データは、文字データからなる、如く構成することができる。

【0030】また、請求項23に記載の発明のように、前記情報データには、当該情報データの属性情報が付加されると共に、前記情報管理サーバは、前記情報データを属性情報毎に管理する、如く構成すれば、情報データをより個人的な情報データとして管理することができるので、ユーザのニーズに合わせたサービスが提供される。例えば、請求項24に記載の発明のように、前記属性情報は、ユーザの年代、ユーザの性別、情報データの用途、システムの使用目的の群から選択される少なくとも1つである、如く構成することができる。

【0031】また、請求項25に記載の発明のように、前記情報データには、ユーザが指定する任意の画像データあるいは音声データを付加することが可能である、如く構成すれば、例えば絵文字、装飾デザイン、記号、イメージ写真、デザインテンプレート、個人の写真画像、音声、キーワードなどを情報データに貼り付けることができる。この結果、より個人的な情報データとして管理することができる。

【0032】また、請求項26に記載の発明のように、前記情報管理サーバに格納されている情報データは、前記ユーザ端末装置を介して修正あるいは変更可能である、如く構成すれば、格納した情報データを修正あるいは変更することができる。

【0033】また、請求項27に記載の発明のように、さらに、前記情報管理サーバは、前記製本サービス発注情報を送信したユーザに対して課金するための課金手段を有する、如く構成すれば、ユーザが例えば情報データを出版物とするサービスを楽しむ場合にのみユーザに課金することができる。即ち、例えば通常のサービスは無料で提供すると共に、付加価値の高いサービスを受け場合にのみ課金するというシステムが構築される。この結果、ユーザが利用しやすいサービスが提供されるので、ユーザの興味が向けられ、集客力の高いマーケット市場が形成される。

【0034】また、請求項28に記載の発明のように、前記情報管理サーバは、さらに、ユーザを会員登録する会員登録手段と、ユーザが登録会員であるか否かを認証する登録会員認証手段とを有し、前記情報管理サーバにアクセスするユーザが登録会員であると認証された場合には、前記情報管理サーバは、前記ユーザ端末装置に対してコンテンツを提供する、如く構成すれば、例えばID及びパスワードを会員登録手段とすれば、例えば日記帳の鍵としての役割を果たすことができ、個人の情報データを管理することができる。

【0035】また、上記課題を解決するため、請求項29に記載の発明のように、前記ユーザ端末装置の画面上

に、ユーザの手続きを誘導する手続誘導手段を表示する、如く構成すれば、例えばキャラクタを誘導役としてユーザの画面操作を誘導するので、例えばストーリー性のあるサービスも享受することができる。

【0036】また、請求項30に記載の発明のように、前記ユーザ端末装置の画面上に、ユーザの手続きに関連する事象を具体的な図柄として表示する、如く構成すれば、例えば個性的なデザインの空間（例えばメモリバンク）がブラウザ上に表示され、例えばキャラクタとの組み合わせにより独特な世界（仮想空間）でのサービスを享受することができる。

【0037】また、上記課題を解決するため、請求項31に記載の発明のように、公衆回線網を介してアクセスした情報管理サーバに情報を格納するユーザ端末装置であって、前記ユーザ端末装置は、前記情報データの格納時点から所定期間経過した後あるいは前記情報データが所定量蓄積された後、前記情報データを編集して製本するサービスを発注するか否かの情報が前記情報管理サーバにより通知される、ことを特徴とするユーザ端末装置が提供される。

【0038】本項記載の発明では、ブラウザ上の仮想空間の情報データを編集して製本するという従来にはないサービスを提供することができる。即ち、例えばインターネットなどの仮想空間上におけるユーザの個人情報、は、実体物（例えば出版物）として具現化されるので、ユーザは、バーチャル空間がリアル空間（即ち、概念を実体物）に発展するという新たなサービスを享受することができる。

【0039】また、請求項32に記載の発明のように、前記情報管理サーバに対して、前記製本サービスを発注するための製本サービス発注情報を送信する手段を有する、如く構成すれば、ユーザの情報データの製本依頼を情報管理サーバに送信することができる。

【0040】また、請求項33に記載の発明のように、前記ユーザ端末装置は、情報データを、ユーザが指定した年月日の情報データとして前記情報管理サーバに格納可能である、如く構成すれば、例えば日記帳あるいは日誌などのように年月日毎に情報データを記入することができる。

【0041】また、請求項34に記載の発明のように、前記情報データに指定される年月日は、前記ユーザ端末装置の画面に表示されたカレンダーを介して指定可能である、如く構成すれば、情報データを簡易に年月日毎に格納することができる。

【0042】また、請求項35に記載の発明のように、前記ユーザ端末装置の画面上に表示されるカレンダーには、情報データが既に格納されている年月日を識別する情報が表示される、如く構成すれば、情報データを記入した年月日を容易に認識することができる。

【0043】また、請求項36に記載の発明のように、

ユーザが年月日を指定して情報データを入力する場合には、当該年月日に関連する事項がユーザ端末装置の画面上に表示される、如く構成すれば、過去の記憶が鮮明に呼び起こされるので、過去のデータを容易に記入あるいは変更することができる。このとき、例えば1,900年から2,000年の10年単位で、当時起こった出来事、流行したもの、ニュースなどを列挙して表示することができる。

【0044】また、請求項37に記載の発明のように、前記情報データは、文字データからなる、如く構成することができる。

【0045】また、請求項38に記載の発明のように、前記情報データには当該情報データの属性情報が付加することが可能である、如く構成すれば、情報データをより個人的な情報データとして管理することができるので、ユーザのニーズに合わせたサービスが提供される。また、請求項39に記載の発明のように、前記属性情報は、ユーザの年代、ユーザの性別、情報データの用途、システムの使用目的の群から選択される少なくとも1つである、如く構成することができる。

【0046】また、請求項40に記載の発明のように、前記情報データには、ユーザが指定する任意の画像データあるいは音声データを付加することが可能である、如く構成すれば、例えば絵文字、装飾デザイン、記号、イメージ写真、デザインテンプレート、個人の写真画像、音声、キーワードなどを情報データに貼り付けることができる。この結果、より個人的な情報データとして管理することができる。

【0047】また、請求項41に記載の発明のように、前記情報管理サーバに格納されている情報データは、前記ユーザ端末装置を介して修正あるいは変更可能である、如く構成すれば、格納した情報データを修正あるいは変更することができる。

【0048】また、請求項42に記載の発明のように、前記ユーザ端末装置が製本サービス発注情報を送信した場合には、情報管理サーバに設けられた課金手段より課金される、如く構成すれば、ユーザが例えば情報データを出版物とするサービスを享受する場合にのみユーザに課金することができる。即ち、例えば通常のサービスは無料で提供すると共に、付加価値の高いサービスを受ける場合にのみ課金される。この結果、ユーザが利用しやすいサービスが提供されるので、ユーザの興味が向けられ、集客力の高いマーケット市場が形成される。

【0049】また、請求項43に記載の発明のように、ユーザを会員登録する会員登録手段と、ユーザが登録会員であるか否かを認証する登録会員認証手段とを有する情報管理サーバにより、前記情報管理サーバにアクセスするユーザが登録会員であると認証された場合には、前記情報管理サーバによりコンテンツが提供される、如く構成すれば、例えばID及びパスワードを会員認証手段

とすれば、例えば日記帳の鍵としての役割を果たすことができ、個人の情報データが管理される。

【0050】また、請求項44に記載の発明のように、前記ユーザ端末装置の画面上には、ユーザの手続きを誘導する手続誘導手段が表示される、如く構成すれば、例えばキャラクタを誘導役としてユーザの画面操作を誘導するので、例えばストーリー性のあるサービスも享受することができる。

【0051】また、請求項45に記載の発明のように、前記ユーザ端末装置の画面上には、ユーザの手続きに関連する事象が具体的な図柄として表示される、如く構成すれば、例えば個性的なデザインの空間（例えばメモリバンク）がブラウザ上に表示され、例えばキャラクタとの組み合わせにより独特な世界（仮想空間）でのサービスを享受することができる。

【0052】上記課題を解決するため、請求項46に記載の発明では、前記請求項16から請求項30に記載の情報管理サーバの機能を実現することを特徴とするプログラムが提供される。

【0053】上記課題を解決するため、請求項47に記載の発明では、前記請求項46に記載の情報処理プログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体が提供される。

【0054】

【発明の実施の形態】以下、本発明の好適な実施の形態について、添付図面を参照しながら詳細に説明する。尚、以下の説明及び添付図面において、同一の機能及び構成を有する構成要素については、同一符号を付することにより、重複説明を省略する。

【0055】（第1の実施の形態）まず、図1を参照しながら、第1の実施の形態にかかる情報管理サービスシステムについて説明する。図1は、第1の実施の形態にかかる情報管理サービスシステムの構成を示すブロック図である。なお、本実施形態における情報管理サービスシステムは、ユーザが情報データを日記に記入する情報管理サービスシステムを例に挙げて説明する。

【0056】まず、図1に示すように、本実施形態にかかる情報管理サービスシステム10は、ユーザ端末装置100、情報管理サーバ200、製本業者サーバ300、ドメインネームサーバ400、プロバイダ500などがインターネット等のネットワーク700を介して接続される。なお、ユーザ端末装置100は、プロバイダ500の通信キャリア600を介して接続される。

【0057】ドメインネームサーバ400は、ドメイン名とIPアドレスの相互変換を実行し、ユーザ端末装置100から送信されたURL等からIPアドレスを検索してユーザ端末装置100に返送する。

【0058】プロバイダ500は、通信キャリア600を介して接続されたユーザ端末装置100とネットワーク700とを論理的に接続し、ユーザ端末装置100と

ネットワーク700との間で情報伝達を可能とする。かかる通信キャリア600は、例えばNTTなどの通信サービス会社が提供する伝送媒体が該当し、ユーザ端末装置100とプロバイダ600との間の接続及び情報の伝達を可能としている。

【0059】ユーザ端末装置100は、図2に示すように、情報管理サーバ200との通信を制御する通信制御装置102、情報管理サーバ200から送信されたコンテンツを表示する表示手段（ディスプレイ）104、情報データなどの各種データを入力するための入力手段106、情報管理サーバ200から送信された情報を記憶するための記憶手段108などから構成される。なお、ユーザ端末装置は、デスクトップコンピュータ、ノート型パーソナルコンピュータ、携帯型ユーザ端末装置以外にも、iモード（商標名）機能を有する携帯電話及びPDA等通信機能を有する端末も該当する。

【0060】次いで、図3に基づいて、本実施形態にかかる情報管理サーバの構成を説明する。なお、図3は、本実施形態にかかる情報管理サーバの構成を示すブロック図である。

【0061】図3に示すように、情報管理サーバ200は、CPU210、通信ユニット220、電話通信ユニット230、メモリ240、及びデータベース装置250などから構成される。

【0062】CPU210は、情報管理サーバ200の全体制御を実行する。電話通信ユニット230は、電話回線を介した外部との通信を制御するユニットである。通信ユニット220は、例えばインターネットを介した外部との通信を制御するユニットである。

【0063】メモリ240は、CPU210によって、アクセスされるためのプログラムやデータが格納されるもので、必要に応じてデータベース装置250から読み出されて格納される。

【0064】データベース装置250には、HTMLファイル、グラフィカル・アイコン・ファイル（GIFファイルなど）、音声、画像オブジェクトなどのハイパーテキストオブジェクトが保存され、例えばインターネットを介して、これらのオブジェクトが各ユーザに提供される。

【0065】また、データベース装置250は、図4に示すように、各情報を蓄積するための記憶装置であり、ユーザ管理テーブル251、製本サービス受注管理テーブル252、課金テーブル253、コンテンツデータテーブル254などが格納される。

【0066】ユーザ管理テーブル251は、図5に示すように、ユーザの認証を行う際に照合を行うための個人データとしてユーザID、パスワード、ユーザの氏名、ユーザ住所などの情報が格納される。

【0067】製本サービス受注管理テーブル252は、図6に示すように、例えば通番、発注ユーザ名、受注日

時、製本デザイン、製本完了予定日時、商品受渡状況、料金支払状況などが格納される。

【0068】課金テーブル253は、図7に示すように、通番、ユーザID、ユーザ名、課金方法、課金結果等の情報が格納される。このとき、公知の課金システムにより例えばクレジットカードにより、例えば製本料がユーザに請求される。

【0069】コンテンツデータテーブル254は、情報管理サーバが提供するコンテンツが格納される。

【0070】ユーザ端末100は、モデム（図示せず）を使用して、電話回線を介して、情報管理サーバ200に保存されているオブジェクトにアクセスできる。このとき、情報管理サーバ提供するコンテンツは、後述する。

【0071】また、図8に示すように、製本業者サーバ300は、CPU310、通信ユニット320、電話通信ユニット330、メモリ340、及びデータベース装置350などから構成される。

【0072】CPU310は、製本業者サーバ300の全体制御を実行する。電話通信ユニット330は、電話回線を介した外部との通信を制御するユニットである。通信ユニット320は、ネットワーク700を介した外部との通信を制御するユニットである。メモリ340は、CPU310によってアクセスされるためのプログラムやデータが格納されるもので、必要に応じてデータベース装置350から読み出されて格納される。

【0073】データベース装置350は、情報管理サーバ200から送信されたユーザの製本サービス発注情報が保存されている。また、データベース装置350は、各種の情報を蓄積するための記憶装置であり、他の様々な情報を格納することができる。

【0074】次いで、図9に基づいて、本実施形態にかかる情報管理サービスシステムの動作フローについて説明する。なお、図9は、本実施形態にかかる情報管理サービスシステムの動作フローを示すフローチャートである。

【0075】まず、ステップS100で、ユーザ端末装置は、例えばインターネットを介して、ポータルサイト、プロバイダコンテンツページあるいは他のネット上のサイトから、本実施形態にかかる情報管理システムのサイトにアクセスする（ステップS100）。

【0076】このとき、例えばインターネットあるいはi-mode（商標名）などを利用することができる。なお、i-mode（商標名）によりアクセスする場合は、月額会員費として有料のコンテンツとすることができる。

【0077】即ち、まず、図10に示すように、例えばインターネットを介して、ポータルサイト、プロバイダコンテンツページあるいは他のネット上のサイトにアクセスする。各ポータルサイトにあるアイコンをクリック

することにより、図11に示すような初期画面（本実施形態にかかる情報管理サービスシステムのタイトル「メモリバンク」）が表示された後、図12に示すような本システムの全体内容の紹介ページがユーザ端末装置の画面上に表示される。

【0078】このとき、ユーザは、本実施形態にかかる例えば日記などの個人データの管理サイトを例えば無料で利用することができる。かかる日記などの個人データの管理サイトは、習慣性によりユーザが毎日アクセスすることが期待されるので、ポータルサイトやプロバイダにとってもアクセスの増加をもたらす優良サイトとなる。このことにより、広告などを目的とした経済効果が見込める有用性に優れたコンテンツが提供されるので、各プロバイダやポータルサイトが活性化される。

【0079】以下、図12に示すように、本実施形態にかかる情報管理サービスシステムの紹介ページを説明する。「メモリバンク」は、本実施形態にかかる情報管理サービスシステムのタイトルである。「日記金庫を借りよう」は、本実施形態にかかる情報管理システムの利用ユーザを獲得するための説明が表示される。「使い方」には、本実施形態にかかる情報管理サービスシステムの使用方法が表示される。「サンプル」は、本実施形態にかかる情報管理サービスシステムにおける日記の記載例が表示される。「利用規約」は、本実施形態にかかる情報管理サービスシステムの利用規則が表示される。「初めての方へ」は、本実施形態にかかる情報管理サービスシステムを初めて利用する新規ユーザに対して、システム内容が分かりやすく説明される。「管理局からのお知らせ」は、メモリバンクからの連絡事項が表示される。

【0080】また、「日記を書こう」には、ユーザが記載できる日記の種類として、「日記」、「自分史」、「交換日記」、「旅行日記」、「業務日誌」、「赤ちゃん日誌」、「詩集」が表示される。

【0081】「新規登録」は、本実施形態にかかる情報管理サービスシステムを利用する未登録ユーザが選択して、会員登録するためのボタンである。「登録済みの人はこちら」は、本実施形態にかかる情報管理サービスシステムの既登録ユーザが、システムを利用する場合に選択するボタンである。「自分の日記を取り出す（ログイン）」は、既登録ユーザがログインするためのボタンである。「ヘルプ」は、本実施形態にかかる情報管理サービスシステムの操作方法を説明するためのボタンである。

【0082】「1. メモリバンクとは、」は、本実施形態にかかる情報管理サービスシステムの全体内容を説明するためのボタンである。「2. 登録の方法」は、未登録ユーザに対して、会員登録方法を説明するボタンである。「3. 退会の方法」は、登録ユーザが会員登録を抹消するためのボタンである。「4. それぞれの日記の特徴と使い方の説明について」は、各種日記の特徴や使用

方法を説明するためのボタンである。「5. 新しい日記を書くには」は、新しい日記を書く方法を説明するためのボタンである。「6. 日記を読むには」は、本実施形態にかかる情報管理サーバに格納されている日記を読む方法を説明するためのボタンである。「7. 日記の変更」は、日記の記載内容を修正、変更する方法を説明するためのボタンである。「8. 日記の削除」は、日記の記載内容を削除する方法を説明するためのボタンである。「9. 交換日記として使いたい場合の方法」は、本実施形態にかかる情報管理サービスシステムでユーザが記載する日記を、交換日記として使用する方法を説明するためのボタンである。「10. パスワードを忘れた場合」は、登録ユーザがパスワードを忘れた場合の対処方法を説明するためのボタンである。「11. 日記の使用制限と容量制限について」は、登録ユーザの使用制限あるいは各ユーザに割り当てられた日記のデータ記憶容量などの容量制限を説明するためのボタンである。「12. 自分の日記を手元に製本する方法」は、情報データの所定期間経過後あるいは所定量蓄積後に、情報データを製本して出版物として各ユーザの手元に置く方法を説明するボタンである。「13. 日記の製本デザインについて」は、日記の表紙デザインを説明するためのボタンである。

【0083】次いで、ステップS102で、ユーザは、「パスワード」、「登録ID番号」を入力してログインを行い、仮想のデータ管理倉庫（メモリバンク）にアクセスする。（ステップS102）。

【0084】このとき、新規ユーザのログインページには、図13に示す画面が表示される。「登録がまだの人はずここを読んで下さい」には、メモリバンクを利用するためにはユーザとして登録する必要がある旨が記載されている。「種類を選ぶ」では、ユーザが利用する日記の種類を、「日記」、「自分史」、「交換日記」、「旅行日記」、「業務日誌」、「赤ちゃん日誌」、「詩集」から選択する。また、ユーザ登録するために、「ユーザ名」、「パスワード」、「氏名」、「住所」、「メールアドレス」を記入する。「ユーザ名」は、本システムで使用するユーザの好きな名前を記載する。「パスワード」は、ユーザが希望する例えば7桁の数字あるいは文字を指定して記載する。「氏名」は、本システムを使用するユーザの氏名を記載する。「住所」は、本システムを使用するユーザの住所を記載する。「メールアドレス」は、本システムを使用するユーザのメールアドレスを記載する。

【0085】上記ユーザ登録に必要な事項を記載して「登録をする」をクリックすると、ユーザが記載したアドレスに、確認メールが通知される。この確認メールでログインのユーザ名とパスワードを再度確認することにより、ユーザは、パスワード、登録ID番号を取得する。

【0086】一方、既に登録済みのユーザは、図14に示す画面が表示される。即ち、図14に示すように、「ユーザ名」及び「パスワード」を記載するだけでログインすることができる。このとき、既登録ユーザは、ブックマークなどにより、ログインページからログインしてメモリバンクに入ることができる。

【0087】その後、図15に示すように、ログインが完了したことが画面上で通知され、メモリバンクに入ることが告げられる。さらに、図16に示すように、メモリバンクの受付にキャラクタが登場し、メモリバンクに関する簡単な説明をおこなう。

【0088】さらに、ステップS104で、ユーザは、登録ID、パスワードを入力し、メモリバンクから日記を取り出す（ステップS104）。

【0089】このとき、図16に示すように、ユーザ端末装置には、日記を格納しているメモリバンクが表示され、キャラクタが登録ID、パスワードを入力することをユーザに対して指示する。その後、ユーザがパスワード、ID番号を入力すると、図18に示すように、自分のメモリバンクから日記が取り出され幻想的に表示される。このように、本実施形態においては、パスワード、ID番号は日記帳の鍵の役割を果たすので、パスワード、ID番号を知らない他のユーザは、日記を開示することできない。

【0090】その後、図19に示すように、キャラクタにより日記が差し出される。このとき、「読む」は、日記を読むことを指定するボタンである。「書く」は、日記を書くことを指定するボタンである。「預ける」は、日記を金庫に預けることを指定するボタンである。

【0091】日記を読みたい場合には、ステップS106に移行し、「読む」をクリックする（ステップS106）。このとき、図20に示すように、ユーザ端末装置の画面上には、日記に書き込みした日にちが網掛けされているカレンダーが表示される。なお、網掛けされていない日にちは、日記に書き込まれていない日にちが示される。

【0092】例えば、2月（February）6日を指定して、「読む」をクリックすると、キャラクタと共に、「久しぶりに家族でディズニーランドに行った。花火がきれいだった。」と記載されている例えば2月6日の日記の内容を読むことができる。

【0093】一方、日記を書きたい場合には、ステップS108に移行し、「書く」をクリックする。このとき、図21に示すように、2月（February）26日を指定して「書く」をクリックした場合は、カーソルが表示される書き込みシートが登場する。この書き込みシートには、例えば2月26日の日記の内容を記載することができる。

【0094】なお、図22に示すように、書き込みシートには、「保存」、「画像と素材」が表示される。「保

存」は、日記の保存を指定するためのボタンである。「画像と素材」は、以下に示すマークブックを指定するためのボタンである。

【0095】このとき、「画像と素材」をクリックすると、画像と素材集(「デザインテンプレート」、「絵文字」、「イメージ写真」、「音声・効果音」、「自分の画像を貼り付ける」)が表示される。

【0096】「デザインテンプレート」は、「仕事」、「顔」、「動物」、「物」、「アート」別のデザインを選択することができる。「絵文字」には、各種絵文字を選択することができる。「イメージ写真」は、「花」、「宇宙」、「風景」、「物」、「人」別のイメージ写真を選択することができる。「音声・効果音」は、「楽しい音」、「悲しい音」、「風景の音」、「物の音」、「人の声」別に音声効果音を選択することができる。

【0097】「自分の画像を貼り付ける(保存ファイルを選ぶ)」は、例えばデジカメで撮影した写真を取り込んで選択することができる。

【0098】なお、自分史を作成する場合には、図23に示すように、カーソルが表示される書き込みシートが登場する。この書き込みシートには、例えば「私の人生 第2章 出会い」が表示され、その日の内容を記載することができる。

【0099】なお、書き込みシートには、「前ページ」、「次ページ」、「目次」、「保存」、「想い出ヘルプ」が表示される。「目次」は、目次を書き込む又は見るためのページへ移動するためのボタンである。「前ページ」は、前ページへ移動するためのボタンである。「次ページ」は、次ページへ移動するためのボタンである。「保存」は、自分史の保存を指定するためのボタンである。「想い出ヘルプ」は、キーワードと年代に起こった事件が補助的に参照するためのボタンである。

【0100】「想い出ヘルプ」をクリックすると、「キーワード集」、「年代と主な出来事」、「イメージ写真」、「自分の画像を貼り付ける(保存ファイルを選ぶ)」が表示される。

【0101】「キーワード集」には、「出生」、「結婚」、「学校」、「職場」、「恋愛」、「悲しい出来事」、「楽しかった思い出」、「出会い」、「別れ」、「転機」、「子供のころ」のボタンが表示され、カテゴリをクリックするとさらに詳しいキーワードが表示される。

【0102】「年代と主な出来事」は、例えば1,900年から2,000年の10年単位で、当時起こった出来事、流行したもの、ニュースなどが列挙されている。

【0103】「イメージ写真」は、「花」、「宇宙」、「風景」、「物」、「人」別のイメージ写真を選択することができる。「自分の画像を貼り付ける(保存ファイルを選ぶ)」は、例えばデジカメで撮影した写真を取り込んで選択することができる。

【0104】その後、ステップS110で、日記がメモリバンクに格納されて管理される(ステップS110)。

【0105】例えば、図24に示すように、日記や自分史を書き終わり「保存」をクリックすると、キャラクタが画面上に登場し、日記が差し出される。「預ける」ボタンを押すと、「それでは、お預かりします」が表示されてメモリバンクに管理される。本実施形態にかかる日記は、一定期間あるいは一定容量を限度に、個人データの出し入れ、書き込みが管理される。その後、データの記入が終わると再びデータ管理倉庫に格納され日記が管理される。

【0106】さらに、ステップS112で、日記を書き始めてから半年経過後に日記を製本するか否かの問い合わせ情報がユーザ端末装置に通知される(ステップS112)。例えば、図25に示すように、製本代金は、例えば1,800円である。「買う」は、自分が記載した日記の製本を依頼することを指示するためのボタンである。「買わない」は、自分が記載した日記の製本を依頼しないことを指示するためのボタンである。このように、ユーザは、世界に1つしかないメモリブックを作ることができる。製本するに同意した場合(即ち、「買う」をクリックした場合には)、例えば有料で製本サービスを受けることができる。

【0107】その後、図26に示すように、日記を書き始めてから1年経過後に、再度、日記を製本するか否かの問い合わせの情報がユーザに通知される。このとき、製本代金は、例えば3,000円である。上記と同様に、製本依頼をするか否かは、「買う」、「買わない」で選択することができる。「買う」を選択した場合には、例えば365ページの思い出が詰まった世界に1つしかないメモリブックを作ることができる。

【0108】このとき、「買う」をクリックした場合には、ステップS114に移行し、表紙のデザイン選択をおこなう(ステップS114)。例えば、図27に示すように、表紙の選択画面が表示され、好きなデザインを選択することができる。

【0109】デザインを選択すると、図28に示すように、表紙の必要項目の記入画面が表示される。「タイトル」は、日記の表紙に記載される題名を入力する。「何年何月何日から何月何日」は、日記を編集する期間を入力する。「名前」は、日記の表紙に記載する名前を入力する。

【0110】このように、表紙の必要項目を記入すると、キャラクタが登場し、表紙のデザインが「これでいいかな?」と確認する。「このデザインで決定」は、選択したデザインを決定するためのボタンである。「別のデザインを見る」は、表示されたデザインが気に入らなかった場合に選択して、表紙の選択画面へ戻り他のデザインを表示するためのボタンである。「入力のしなお

し」は、デザインを変更するためのボタンである。

【0111】「入力のしなおし」をクリックし、表紙のデザインを変更すると、図29に示すような別のデザインの画面が表示され、キャラクターが登場し、再度、「これでいいかな?」と確認する。「このデザインで決定」、をクリックすると、日記の表紙が決定する。

【0112】日記の表紙のデザインが決定したら、図30に示すように、日記製本が決定される。このとき、キャラクターが登場して製本作業をする画面も表示され、製本が手元に届くまで例えば約3週間かかることが通知される。

【0113】次いで、ステップS116で、ユーザは、課金方法を選択し、発注処理をおこなう(ステップS116)。

【0114】例えば図31に示すように、課金方法の詳細画面が表示される。「支払方法」として、「クレジットカード」、「銀行振込」、「コンビニ支払い」、「郵便振替」のうちから選択することができる。また、製本の送付先として、「送り先」(「郵便番号」、「住所」、「氏名」、「電話番号」)を記載する。「製本部数」は、希望する日記の製本の部数を記載する。このとき、製本部数として例えば100冊まで記入することができる。全てを記載したら、OKボタンをクリックする。

【0115】その後、自動的に課金処理及び発注処理に移行し、ユーザには、図32に示すように、トータル金額が表示される。

【0116】その後、ステップS118で、情報管理サーバは、ユーザからの製本サービス発注情報を製本業者サーバに送信し、発注処理が終了する(ステップS118)。

【0117】本実施形態においては、ブラウザ上の仮想空間の情報データを編集して製本するというサービスが提供される。即ち、例えばインターネットなどの仮想空間上におけるユーザの個人情報は、実体物として具現化されるので、バーチャル空間がリアル空間(即ち、概念を実体物)に発展するという新たなサービスが提供される。

【0118】また、各ユーザの個人データは、各々データ倉庫(例えばメモリバンク)を仮想で設定し、実際に日記を出し入れをするようなストーリー性を設定し、キャラクターを管理者として設定しているので、現実性の(リアリティ)のある情報管理サービスを提供することができる。また、予め設定された補助ツール(例えばデザインや音声)を使用したり、ユーザ個人の写真などを自由に編集できるので、より個性的な情報データを作成することができる。

【0119】以上、本発明に係る好適な実施の形態について説明したが、本発明はかかる構成に限定されない。当業者であれば、特許請求の範囲に記載された技術思想

の範囲内において、各種の修正例および変更例を想定し得るものであり、それらの修正例および変更例についても本発明の技術範囲に含まれるものと了解される。

【0120】例えば、上記実施形態においては、情報データを格納した日から6ヶ月及び1年で製本サービス情報を通知する構成を採用した例を挙げて説明したが、かかる例には限定されない。例えば3ヶ月毎、1年ごとなど期間には限定されない。また、定期的に製本サービス情報を通知する必要はなく、不定期に通知することもできる。

【0121】例えば、上記実施形態においては、情報データを格納した日から所定期間経過後に製本サービス情報を通知する構成を採用した例を挙げて説明したが、所定の情報データが蓄積された場合に、製本サービス情報を通知することもできる。

【0122】上記実施形態においては、ユーザ個人で日記帳を利用する構成について説明したが、パスワード、登録IDを複数のユーザで共有すれば、交換日記として使用することもできる。

【0123】また、必要に応じて、ユーザが情報データの公開する手段を設置すれば、任意のユーザが日記を読むこともできる。

【0124】また、上記実施形態においては、製本業者にサーバを設置した構成を例に挙げて説明したが、かかる例には限定されず、例えば電話等により製本業者に製本注文をおこなっても良い。

【0125】

【発明の効果】ブラウザ上の仮想空間の情報データを編集して製本するというサービスが提供される。即ち、例えばインターネットなどの仮想空間上におけるユーザの個人情報は、実体物として具現化されるので、バーチャル空間がリアル空間(即ち、概念を実体物)に発展するという新たなサービスが提供される。

【0126】また、各ユーザの個人データは、各々データ倉庫(例えばメモリバンク)を仮想で設定し、実際に日記の出し入れをするようなストーリー性を設定し、キャラクターを管理者として設定しているので、現実性の(リアリティ)のある情報管理サービスを提供することができる。また、予め設定された補助ツール(例えばデザインや音声)を使用したり、ユーザ個人の写真などを自由に編集できるので、より個性的な情報データを作成することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】第1の実施の形態にかかる情報管理サービスシステムの構成を示すブロック図である。

【図2】第1の実施の形態にかかるユーザ端末装置の構成を示すブロック図である。

【図3】第1の実施の形態にかかる情報管理サーバの構成を示すブロック図である。

【図4】第1の実施の形態にかかる情報管理サーバのデ

データベース装置の構成を示すブロック図である。

【図5】第1の実施の形態にかかる情報管理サーバのデータベース装置に格納されるユーザ管理テーブルを示す説明図である。

【図6】第1の実施の形態にかかる情報管理サーバのデータベース装置に格納される製本サービス受注テーブルを示す説明図である。

【図7】第1の実施の形態にかかる情報管理サーバのデータベース装置に格納される課金テーブルを示す説明図である。

【図8】第1の実施の形態にかかる製本業者サーバの構成を示すブロック図である。

【図9】第1の実施の形態にかかる情報管理サービスシステムの動作フローを示すフローチャートである。

【図10】第1の実施の形態にかかるユーザ端末装置がアクセスするポータルサイトあるいはプロバイダコンテンツテーブルを説明するための説明図である。

【図11】第1の実施の形態にかかる情報管理サービスシステムが提供する初期画面である。

【図12】第1の実施の形態にかかる情報管理サービスシステムが提供する全体内容紹介ページである。

【図13】第1の実施の形態にかかる情報管理サービスシステムが提供する新規ユーザのログインページである。

【図14】第1の実施の形態にかかる情報管理サービスシステムが提供する既登録ユーザのログインページである。

【図15】第1の実施の形態にかかる情報管理サービスシステムが提供するログイン完了画面である。

【図16】第1の実施の形態にかかる情報管理サービスシステムが提供するメモリバンクの簡単な説明を行う画面である。

【図17】第1の実施の形態にかかる情報管理サービスシステムが提供する日記格納金庫の画面である。

【図18】第1の実施の形態にかかる情報管理サービスシステムが提供する日記を取り出す画面である。

【図19】第1の実施の形態にかかる情報管理サービスシステムが提供するキャラクタが日記を差し出す画面である。

【図20】第1の実施の形態にかかる情報管理サービスシステムが提供する日記の読む画面である。

【図21】第1の実施の形態にかかる情報管理サービスシステムが提供する日記の書き込み画面である。

【図22】第1の実施の形態にかかる情報管理サービスシステムが提供する日記の書き込みシートを示す。

【図23】第1の実施の形態にかかる情報管理サービスシステムが提供する自分史の書き込みシートを示す。

【図24】第1の実施の形態にかかる情報管理サービスシステムが提供する日記や自分史を預ける画面である。

【図25】第1の実施の形態にかかる情報管理サーバがユーザ端末装置に提供する製本サービスの問い合わせ情報である。

【図26】第1の実施の形態にかかる情報管理サーバがユーザ端末装置に提供する製本サービスの問い合わせ情報である。

【図27】第1の実施の形態にかかる情報管理サーバがユーザ端末装置に提供する製本の表紙デザインの選択画面である。

【図28】第1の実施の形態にかかる情報管理サーバがユーザ端末装置に提供する製本の表示記入画面である。

【図29】第1の実施の形態にかかる情報管理サーバがユーザ端末装置に提供する製本の表紙デザインの変更画面である。

【図30】第1の実施の形態にかかる情報管理サーバがユーザ端末装置に提供する製本の表紙デザインの決定画面である。

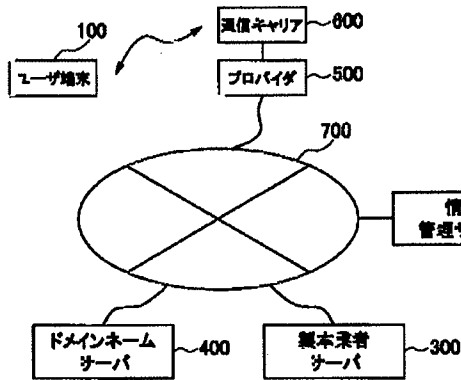
【図31】第1の実施の形態にかかる情報管理サーバがユーザ端末装置に提供する製本サービスの課金方法画面である。

【図32】第1の実施の形態にかかる情報管理サーバがユーザ端末装置に提供する終了画面である。

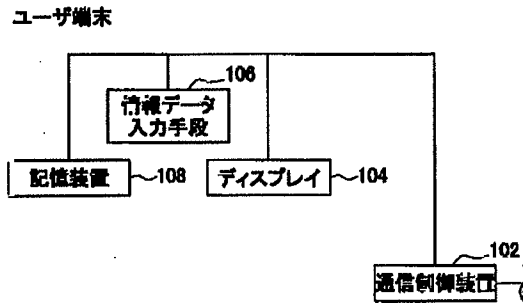
【符号の説明】

- 10 情報管理サービスシステム
- 100 ユーザ端末装置
- 102 通信制御装置
- 104 表示手段（ディスプレイ）
- 106 入力手段
- 108 記憶手段
- 200 情報管理サーバ
- 210 CPU
- 220 通信ユニット
- 230 電話通信ユニット
- 240 メモリ
- 250 データベース装置
- 251 ユーザ管理テーブル
- 252 製本サービス受注管理テーブル
- 253 課金テーブル
- 254 コンテンツデータテーブル
- 300 製本業者サーバ
- 400 ドメインネームサーバ
- 500 プロバイダ
- 600 通信キャリア
- 700 ネットワーク

【図1】

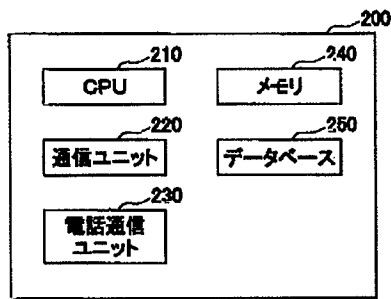


【図2】



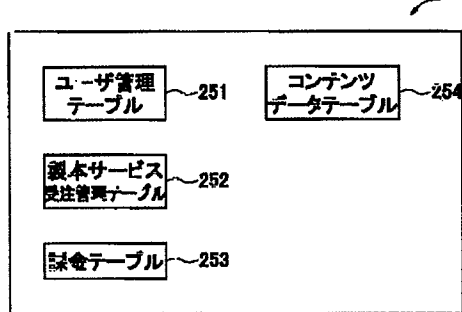
【図3】

情報管理サーバ



【図4】

情報管理サーバのデータベース装置

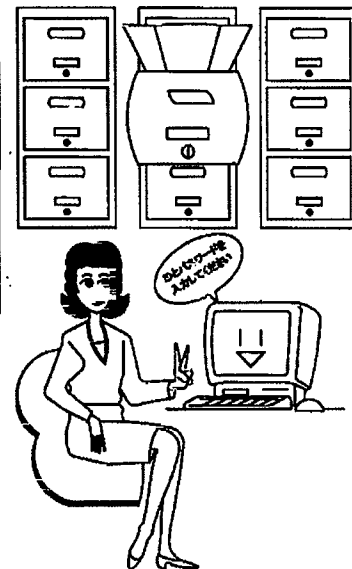


【図5】

ユーザ管理テーブル

	ユーザID	パスワード	ユーザ名	住所	他の属性
1	AAAA	aaaa	〇田〇男	〇〇県〇〇市...	〇〇〇〇
2	BBBB	bbbc	△山△子	△△県△△市...	△△△△

【図17】



【図6】

製本サービス受注管理テーブル

通番	発注ユーザ名	発注日時	表紙デザイン	表紙タイトル	データ期間	製本受渡	料金支払状況
1	〇岡〇子	〇〇年〇〇月〇〇日	A type	〇〇〇〇	〇〇年〇〇月〇〇日 ～××年××月××日	未	済
2	△田△美	△△年△△月△△日	B type	△△△△	△△年△△月△△日 ～□□年□□月□□日	済	未

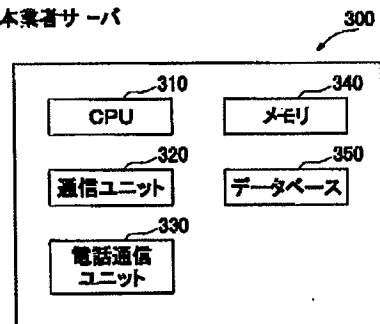
【図7】

課金テーブル

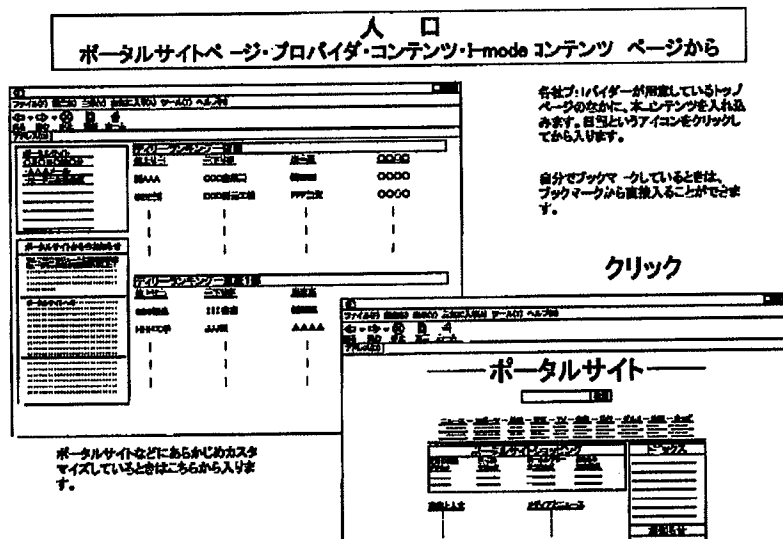
通番	ユーザID	ユーザ名	受注番号	課金料金	部数	合計金額	料金支払方法
1	AAAA	〇山〇男	ABC01	3,000円	10	30,000円	クレジット
2	BBBB	△田△子	abcd	1,800円	1	1,800円	銀行振込

【図8】

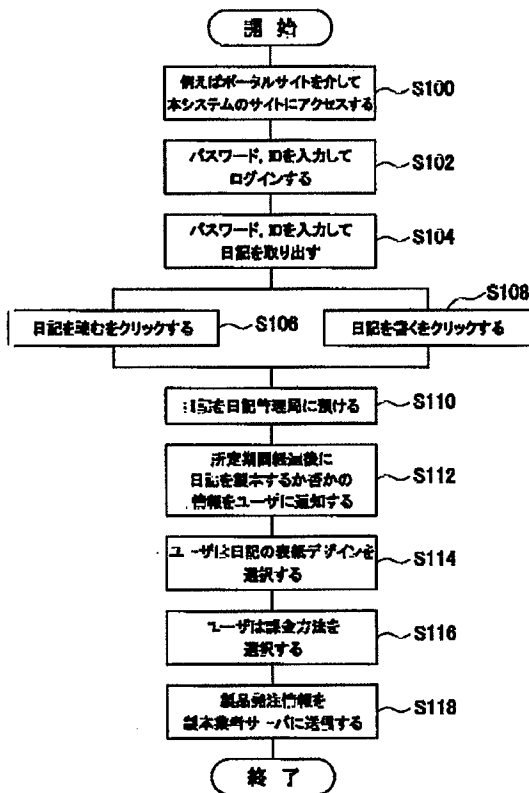
製本業者サーバ



【図10】



【図9】



【図13】

新規登録の人のログインページへ

登録がまだの方は必ずここを讀んでください
日記を書く、読む、閲覧するためには必ずメモリーバンクに日記
を預けてもらう、日記金庫に預けてはなりません。そのため
々の日記金庫を、預けることとしてのパスワードとユーザー名を
登録する必要があります。登録するをクリックし、必要事項を入力
して、毎日メモリーバンクへ日記を預けたり出したりしてください。

種類を選ぶ

- 日記
- 自分史
- 交換日記
- 旅行日記
- 業務日記
- 赤ちゃん日記
- 詩集

登録をする

ユーザー名	
パスワード	
氏名	
住所	
メールアドレス	

登録メールアドレスに入ります
ここでログインのユーザー名とパスワードをもう一度確認していただきます

【図14】

すでに登録済の人へ

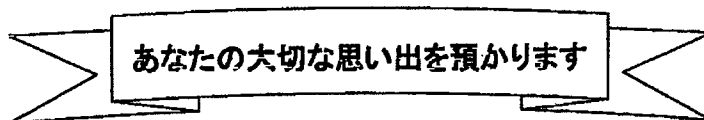
ログイン/新規登録/トップへ

ログイン

ユーザー名

パスワード

【図11】

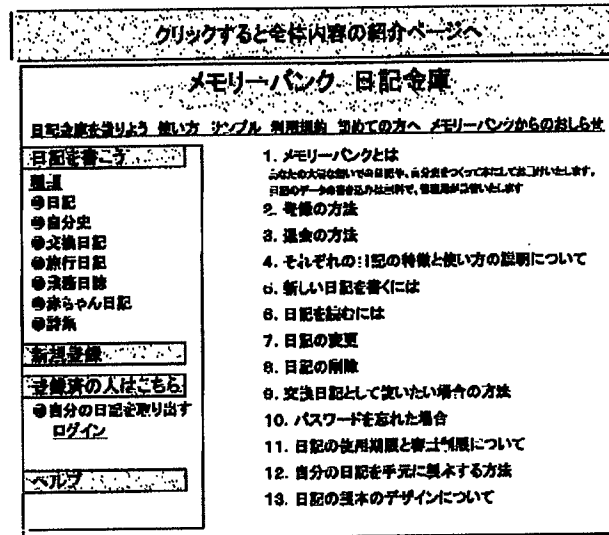


メモリーバンク

Make your memories to a BOOK!

あなたが綴る毎日の思い出を
世界でひとつだけの本にしませんか？

【図12】

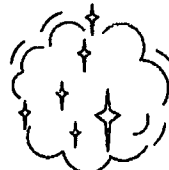


【図15】

新規登録の人、すでに登録済みの人もログインをすすめました

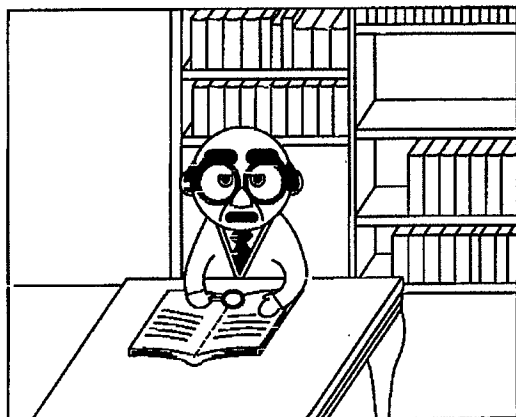


バーチャルな世界
どこかにあって
でもどこにもない
メモリーバンクへ入ります



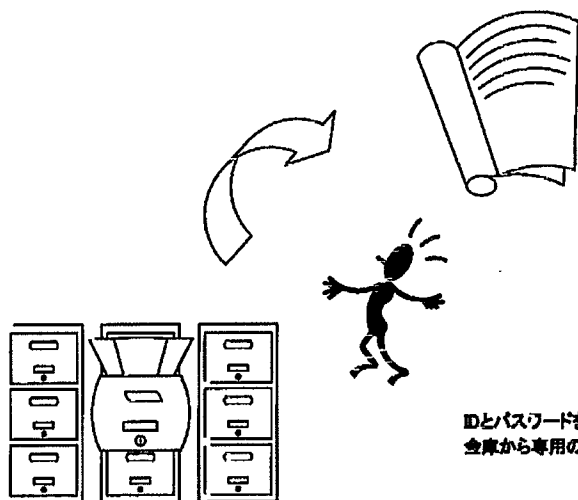
ファン

【図16】



いらっしゃいませ
こちらはメモリーバンク
日記金庫でございます。
こちらでは、あなたの
大事な思い出を大切に
管理保管させて頂きます
ご登録された場合、あなた様
専用の思い出Depositを
お作りします。
いつでもご用の時に
お呼び頂ければ
なんどきでも
出し入れさせて頂けます
そこに日記帳を預けて
いただけますので。
毎日の出来事を日記帳に
記してくださいませ。

【図18】



IDとパスワードを入力すると専用の
金庫から専用の日記が飛び出す

【図32】

■トータル金額
〇〇〇円になりました

コンビニ決済または銀行振込、郵便振替の方は振込用紙をお届けいたします

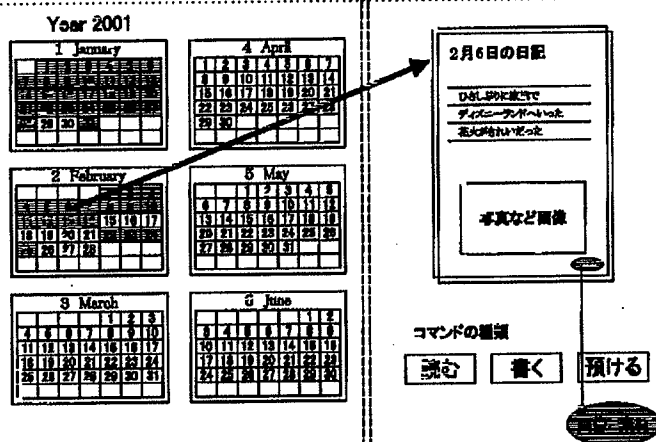
ありがとうございました
お届けまで楽しみにしてください

【図19】



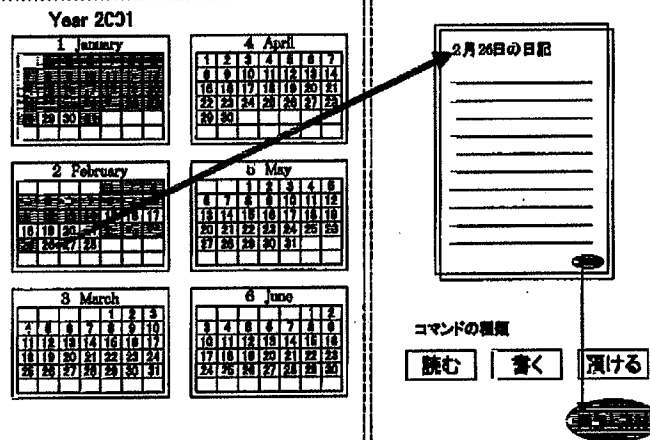
【図20】

書き込みをした部分は、どんどん空白が埋まって割付けされていきます。
一度書いたところは読むを押すと、文章を読んだり、変更をしたりできます。



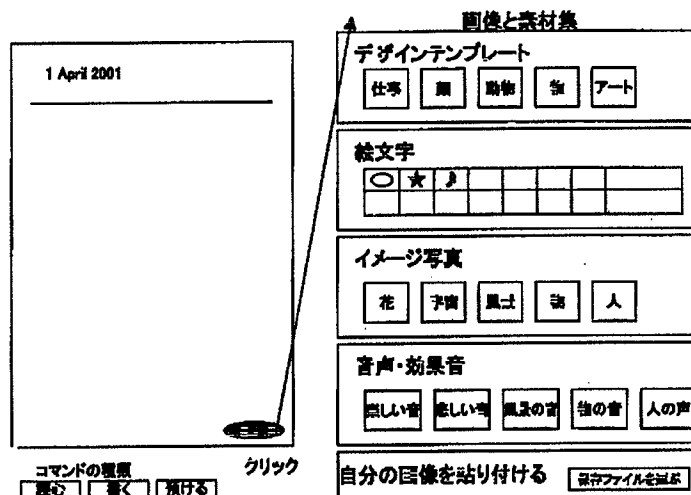
【図21】

書くを選んだ場合、カレンダーが現れますので、自分の日記をつける箇所をクリックすると書き込みページを呼び出すことができます。

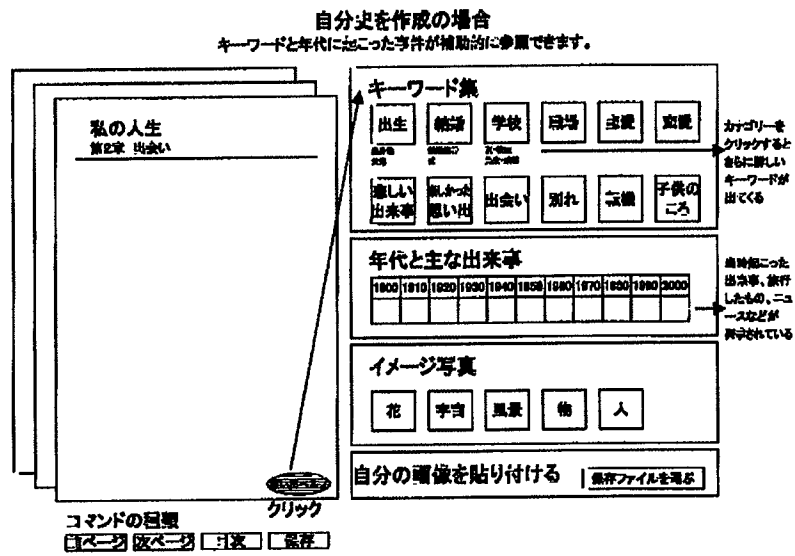


【図22】

書き込みをするときに役立つさまざまな素材を使って文章を作ってください



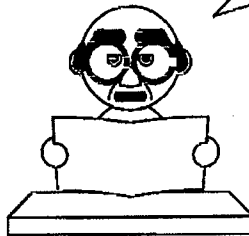
【図23】



【図24】

日記を書き終わったら、このページから日記を預ける。
また再び書いたり読んだりページへ入ることもできる。

今日はもういいのかな？
では日記を預かるよ



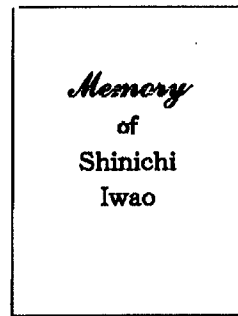
日記を預ける 日記を書く 日記を読む ログアウト

【図25】

そして半年が経ちました

あなたの日記を
製本いたしますか？

半年間の思い出の詰まった
世界でひとつしかない
メモリーブックを
お作りしてお届けいたします



製本代金は1800円です
この本を

買う

買わない

買わない場合は半年経った
ときにお使いがなくなります。

【図26】

そして
一年が経ちました

あなたの日記を
製本いたしますか？

365ページの
思い出の詰まった
世界でひとつしかない
メモリーブックを
お作りいたします。



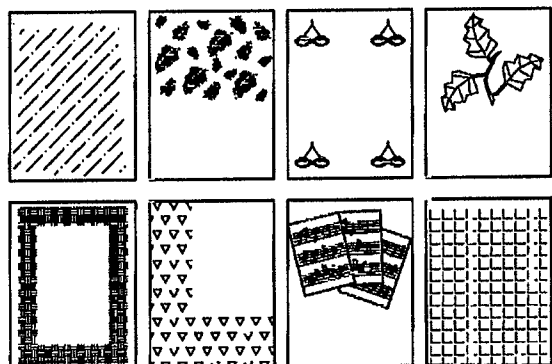
製本代金は¥3000です
この本を

買う

買わない

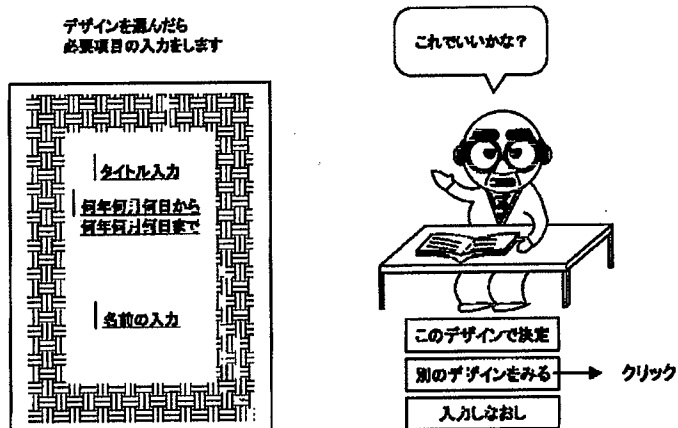
【図27】

買うをクリックした人には表紙デザインの画面が現れます。

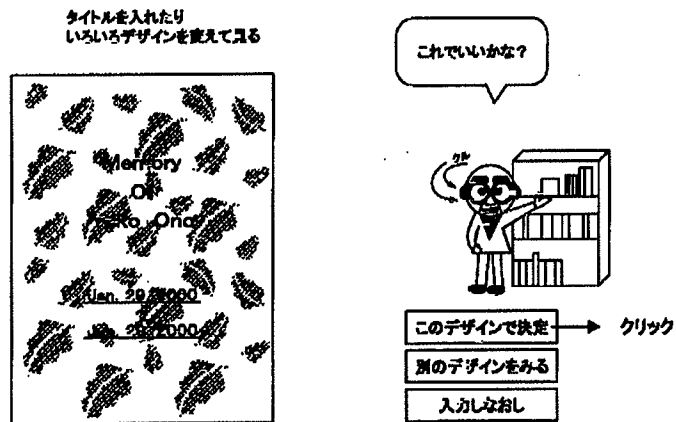


表紙裏丁のデザインが選べます
好きなデザインをクリックしてください

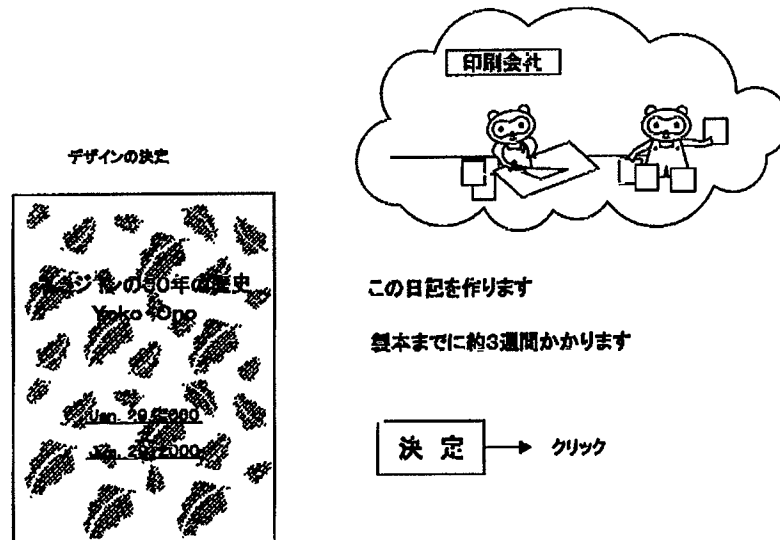
【図28】



【図29】



【図30】



【図31】

課金の手続きと送り先などの事務ページへ

■支払方法
○クレジットカード
○銀行振込
○コンビニ支払い
○郵便振替

■送り先
郵便番号
住所
氏名
電話番号

■課金対象

→ プルダウンで100冊まで

→ クリック

フロントページの続き

(51)Int. Cl.⁷
G 0 7 F 17/26

識別記号

F I
G 0 7 F 17/26

(参考)